

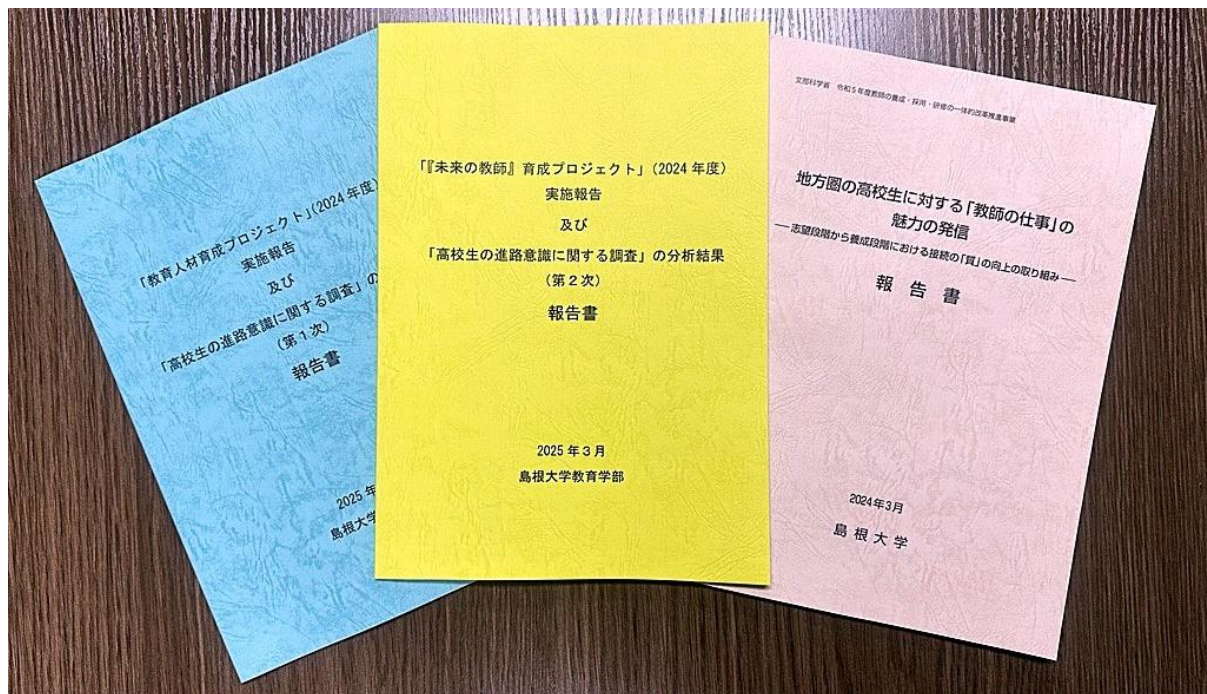


過疎・少子化に直面する山陰地域における教師の確保に向けた 「高校生の進路意識に関する調査」研究

教育学部 講 師 津多 成輔・特任教授 吉田 博幸
特任教授 長岡 素巳・特任助教 永島 郁哉

質の高い教育をすべての人々に届けるためには、学校教育を担う教師を継続的・安定的に養成することが必要です。一方で、過疎・少子化に直面する地域においては、教師の確保が喫緊の課題となっています。このような状況のもと、島根大学教育学部では、高校生に教職への理解を深めてもらう取組として、『未来の教師』育成プロジェクト（鳥取県）や教育人材育成プロジェクトを実施しています。これらのプロジェクトの拠点校（鳥取県 8 校1862名・島根県 6 校890名）の高校生を対象に、**教師を継続的・安定的に養成・確保するための基礎的な知見を得ることを一つの目的として、高校3年間の進路意識の変化を明らかにする全4回のパネル調査を実施しています。**

この調査研究の成果は、鳥取県教育委員会や島根県教育委員会、各拠点校にも共有されており、実際の進路指導の改善にも役立てられています。



（2023・2024年度に刊行された調査報告書）